

# みやまりんどう

令和7年度（2025年度）学校通信 第8号 令和7年11月26日発行



## 校訓

**風雪に耐えて猛進せよ**

「Challenge（挑戦）」して「Change（変化）」する「Chance（可能性）」がある学校

今年も残すところ1か月余り。上川町は昨年よりも早く一面が雪景色。いよいよ冬本番を迎えます。保護者の皆様、地域の皆様には、上川高校の教育活動にご支援とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、これから冬を迎えるにあたり、上川高校の校訓<sup>※1</sup>「風雪に耐えて猛進せよ」の意味を再認識させられます。本校の校訓は、開校以来「誠実・友愛・剛健」とされていましたが、昭和62年に「風雪に耐えて猛進せよ」が校訓として創設されたと記録<sup>※2</sup>があります。そして、この校訓には以下のような意味が込められています。

校訓「風雪に耐えて猛進せよ」

- 一 最後までやり遂げる誠実な人
- 二 良く考え積極的に工夫する人
- 三 心情豊かで健康な人

※1 学校が定めている教育に関する目標や方針などを成文化したもの。

※2 創立50周年記念誌（平成14年11月発行）

※3 西郷の妹コトの三男・政直がアメリカ海軍兵学校に留学する際に贈った漢詩

先日、町外から来た方がこんなことを言っていました。

「上川高校の校訓『風雪に耐えて猛進せよ』いいですね。」

「今の時代だからこそ、何か沁みますよね」「一周回って's（マト）を得てますよね」

「風雪に耐えて猛進せよ」は風雪が凄そう、寒そうというイメージを持ちそうですが、この校訓に触れた方には相当のインパクトがあると改めて感じました。

本校の校訓に似たもので、明治維新の立役者である西郷隆盛が残した「漢詩」の中に、「耐雪梅花麗（雪に耐えて梅花麗し）」<sup>※3</sup>という詩があります。この詩の意味は、「梅の花は、雪の冷たさに耐えてはじめて麗しく咲く」という意味が込められています。（風雪に耐えて猛進せよ）には耐雪梅花麗の精神が流れていると強く感じます。）

上川高校の生徒達は、高校3年間で様々なことにChallenge（挑戦）して、失敗貯金が増えるほど自分の成長に繋がるという「自分事」の意識を上川高校で身に付けて、Change（変化）することができるChance（可能性）を持っています。

校訓「風雪に耐えて猛進せよ」は、今後、何十年にわたって、入学してくる上高生が、自分自身を向上させるための日常の指針（約束事）として活用してくれることを願います。

## 第2回学校運営協議会（コミュニティ・スクール）開催

10月29日（水）に第2回学校運営協議会を開催しました。上川高校では、今年度から「学校が地域社会と連携・協働して育てたい生徒像を共有し、社会総掛かりで取り組む」ことを目標として、学校運営協議会（コミュニティ・スクール：CS）を設置しています。（北海道の公立高校77校で設置）

学校運営協議会の主な3の機能は、(1)校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。(2)学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べるができる。(3)教職員の任用に関して、教育委員会に意見を述べることがあるとされ、【決定はしない】けれど、地域住民側が学校運営について【承認】及び、学校運営と教職員任用について【意見を述べる】ことはできる組織体です。

当日は、2つの部会に分かれて熟議を行い、地域連携部会では、上川高校が「選ばれる高校」になるためには、どのような「魅力化」と「生徒募集」が必要か（できるか）。進路支援部会では、地域連携・異校種間連携・高大連携等により上川高校の生徒の能力（認知・非認知）を伸ばすためにはそのようなことが必要か（できるか）。両部会で活発な熟議が行われ、生徒にとって、保護者にとって、地域にとっての多くのメリットやアイデアを学校運営に活用していきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

12月		
日	曜	行 事
1	月	
2	火	スクールカウンセリング⑥
3	水	
4	木	
5	金	大学・短大・専門学校 町内企業合同説明会（中高連携）
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	職員会議
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	探究活動報告会
20	土	
21	日	
22	月	体育大会・全校集会
23	火	冬季休業～1/15 冬期講習～26日
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	閉庁日
30	火	閉庁日
31	水	閉庁日

## 活動報告会を開催します 12/19（金）

今年度の探究活動の成果と海外研修の学びをお伝えする発表会を開催します。

前半は、総合的な探究の時間「大雪基礎」として行った地域探究の成果を発表します。1年生は「町を知ろう！フィールドワーク」、2年生は「町でやろう！マイプロジェクト」、3年生は「町を興そう！ミライクリエーション」と題し、上川町を舞台とした活動の発表です。

後半では、1年生の海外研修で得た学びに加え、2・3年生の選択授業「大雪研究」、そして課外活動として取り組んでいるグローバル局の活動報告を行います。

なお今回は、上川町学園構想のオープン勉強会で来町される文部科学省視学官・田村学先生にもご来校いただき、生徒の発表をご視聴いただく予定です。

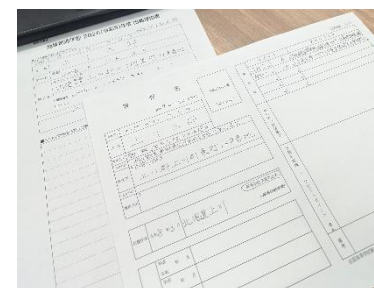
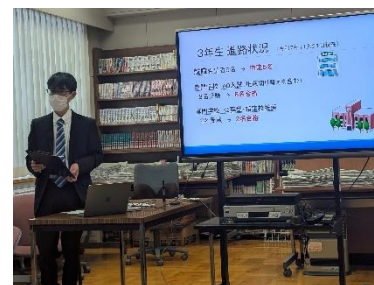
生徒たちの1年間の学びの成果と、地域に支えていただいた学びの軌跡をぜひご覧ください。皆様のご来校をお待ちしております。参加申込みは、掲載のQRコードから受け付けています。



## 先生も勉強中です！ ～11/21 校内研修～

「先生も学び続ける学校」をめざし、年4回の校内研修を行っています。今回は、進路指導力の向上をテーマに研修を実施しました。

研修では複数のグループに分かれ、実際に履歴書や志望理由書を書いてみる演習に取り組みました。生徒の視点を体感することで、指導のポイントや難しさを改めて確認することができました。また、よりよいインターンシップや大学見学の在り方についての協議では、「生徒の



主体性が育つプログラムとは何か」、「地域や大学との連携をどう深めていくか」といった点について活発な意見交換が行われました。

さらに、日頃の課題や悩みを共有する時間も設け、現場のリアルな声から改善につながるヒントを得ることができました。今回の研修を通して見えてきた成果と課題を整理し、生徒一人ひとりの進路実現をより確かなものにするため、今後も指導体制の充実と実践力の向上に取り組んでまいります。

